

「リテラシーを支える4つの力」を5段階に設定し、各レベルの到達内容を明示したものです。以下を参考にPDCA実践していくことでより効果的に、学生のリテラシーレベルを上げていくことができます。

能力	定義	能力の小要素	1	2	3	4	5
情報収集力	課題発見・課題解決に向けて、幅広い観点から適切な情報源を見定め、適切な手段を用いて情報を収集・調査し、それらを適切に整理・保存する力	1-1 情報源の特性を知る 1) さまざまな情報源 2) インターネットで検索する 3) 図書館で調べる 1-2 情報を整理・保存する 1) ノートテイキング（講義を聴く） 2) 情報をファイリングする 1-3 アンケートとインタビュー 1) アンケートを実施する 2) インタビューを行う	簡単な情報収集の仕方について、理解している	様々な情報収集の手段について、その利便性と問題点を理解できる	収集すべき情報の特性や情報源の信憑性が理解できる	仮説を検証するために必要な情報を見定めて収集し、整理保存ができる	複雑な文脈の中で、仮説を検証するために必要な情報を見定めて収集し、整理保存ができる
情報分析力	事実・情報を思い込みや憶測ではなく、客観的かつ多角的に整理・分類し、それらを統合して隠れた構造を捉え、本質を見極める力	2-1 表やグラフを読み取る 1) 図表・グラフの種類と特性 2) グラフの「読み取り」「分析」のポイント 3) 複数のグラフや表を総合して読み取る 2-2 文献・資料を読む 1) 論理的なテキストの特性 2) 論理的なテキストの読解 3) 見出しをつける 4) 全体像を捉える 2-3 批判的・多角的に分析する 1) 批判的読解とは 2) 批判的読解の具体的あり方	簡単な図表や文章を読み取ることができる	図表や文章から、客観的な事実や因果関係を読み取ることができる	図表や文章から読み取った内容の関係を論理的に思考し、構造化することができる	情報を多角的に理解し、それらを統合して本質をとることができる	複雑な文脈の中で、情報を多角的に理解し、それらを統合して本質をとることができる
課題発見力	さまざまな角度、広い視野から現象や事実を捉え、それらの背後に隠れているメカニズムや原因について考察し、解決すべき課題を発見する力	3-1 広い観点から問題点を洗い出す 1) 拡散思考について 2) ブレーンストーミングで発想を広げる 3) フレームワークで考える 3-2 問題点を整理・分析する 1) 収束思考について 2) 収束思考に必要な観点 3) マップ化による整理 3-3 発見された問題の中から解決すべき課題を設定する 1) 問題点から課題への絞り込み 2) 課題への絞り込みに必要な観点	簡単な問題において、解決すべき課題を選択することができる	複数の情報を整理し、解決すべき課題を設定することができる	いくつかの問題点の中から、解決すべき課題の優先順位を理解することができる	複数の情報から問題の本質を見極め、解決すべき課題を設定できる	複雑な文脈の中で、複数の情報から問題の本質を見極め、解決すべき課題を設定できる
構想力	さまざまな条件・制約を考慮しながら問題解決までのプロセスを構想し、その過程で想定されるリスクやその対処方法を構想する力	4-1 広い観点から解決策を考える 4-2 現実味のある解決策を考える 4-3 計画を立てる 1) 必要な作業をもれなく洗い出す 2) 具体的な行動計画を考える	簡単な問題において、解決策を選択することができる	問題解決のプロセスに即して、解決策を構想することができる	いくつかの解決策の中から、制約条件を踏まえて有効な解決策を選択することができる	制約条件やリスク等をふまえ、有効な解決策や行動計画を構想できる	複雑な文脈の中で、制約条件やリスク等をふまえ、有効な解決策や行動計画を構想できる